

産業廃棄物処理計画書

2023 年 6 月 28 日

新潟市長様

提出者  
住 所 新潟市西蒲区大原3459番地1  
氏 名 株式会社 齋藤組  
代表取締役 齋藤 隆  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号 0256-86-2860

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 齋藤組		
事業場の所在地	新潟市内工事現場 (新潟市西蒲区大原3459番地1)		
計画期間	2023 年 4 月 1 日 から	2024 年 3 月 31 日	まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
① 事業の種類	職別工事業		
② 事業の規模	元請完成工事高	813,745千円	
③ 従業員数	59人		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>解体工事現場</p> <p>↓</p> <p>分別 →</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 木屑 処理業者へ委託 → ・原料として再資源化 ・焼却 → 燃え殻 → 埋立</li> <li>・ 紙くず・繊維くず 処理業者へ委託 → ・焼却 → 燃え殻 → 埋立 ・破碎 → 埋立</li> <li>・ 廃プラスチック類 処理業者へ委託 → ・原料として再資源化 ・破碎 → 埋立</li> <li>・ がれき類 処理業者へ委託 → ・再生砕石として再資源化</li> <li>・ 金属くず 処理業者へ委託 → ・破碎し売却</li> <li>・ ガラス、陶磁器、コンクリート 処理業者へ委託 → ・再生もしくは、埋立 ・破碎し埋立</li> </ul>		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括責任者 廃棄物担当者	取締役  取締役 取締役営業部長 他
役割 統括責任者 廃棄物担当者	廃棄物処理に関する各種事項の決定承認  ・産業廃棄物処理施設の状況把握 ・処理業者の選定及び管理 ・委託契約の締結 ・社員、関連会社に対する教育・管理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 (2022年度) 実績】											
産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	石膏ボード			
排出量	351.43 t	8.25 t	885.05 t	14.59 t	2,206.89 t	950.82 t	1,815.29 t	291.24 t			
産業廃棄物の種類	コンクリートくず	アスファルトくず									
排出量	38,785.03 t	2,457.00 t									
(これまでに実施した取組)											
解体工事前の現状確認。分別解体し収集。再生利用できる物は、再生利用する処分場へ持っていく。											
【目標】											
産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	石膏ボード			
排出量	351.00 t	8.00 t	885.00 t	14.00 t	2,206.00 t	950.00 t	1,815.00 t	291.00 t			
産業廃棄物の種類	コンクリートくず	アスファルトくず									
排出量	3,875.00 t	2,457.00 t									
(今後実施する予定の計画)											
解体工事前の現状確認。分別解体し収集。再生利用できる物は、再生利用する処分場へ持っていく。											

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  解体作業は、分別解体をする。廃棄物が、混ざらない様に収集運搬する。再生利用する処分場を選択し持ち込みをする。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（年度）実績】		産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	石膏ボード
① 現状	産業廃棄物の種類									
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	アスファルトくず							
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)										
【目標】		産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	石膏ボード
② 計画	産業廃棄物の種類									
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	アスファルトくず							
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)										

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（年度）実績】		産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	石膏ボード
① 現状	産業廃棄物の種類									
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	アスファルトくず							
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)										
【目標】		産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	石膏ボード
② 計画	産業廃棄物の種類									
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	アスファルトくず							
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)										

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度 ( 年度 ) 実績】										
① 現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	石膏ボード	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	アスファルトくず							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
(これまでに実施した取組)										
【目標】										
② 計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	石膏ボード	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	アスファルトくず							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
(今後実施する予定の計画)										
産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
【前年度 ( 2022 年度 ) 実績】										
① 現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	石膏ボード	
	全処理委託量	351.43 t	8.25 t	885.05 t	14.59 t	2,206.89 t	950.82 t	1,815.29 t	291.24 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	351.43 t	t	724.18 t	14.59 t	2,206.89 t	950.82 t	t	291.24 t	
	再生利用業者への処理委託量	t	t	724.18 t	t	2,206.89 t	t	1,815.29 t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	8.25 t	160.87 t	t	t	t	t	t	
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	アスファルトくず							
	全処理委託量	38,785.03 t	2,457.00 t	t	t	t	t	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	再生利用業者への処理委託量	38,785.03 t	2,457.00 t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	(これまでに実施した取組)									
	産業廃棄物を委託できる業者を選定し書面による契約を実施									

【目標】										
① 計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	石膏ボード	
	全処理委託量	351.00 t	8.00 t	885.00 t	14.00 t	2,206.00 t	950.00 t	1,815.00 t	291.00 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	351.00 t		725.00 t	14.00 t	2,206.00 t	950.00 t		291.00 t	
	再生利用業者への処理委託量					2,206.00 t		1,815.00 t		
	認定熱回収業者への処理委託量									
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		8.00 t	160.00 t						
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	アスファルトくず							
全処理委託量	38,785.00 t	2,457.00 t								
優良認定処理業者への処理委託量										
再生利用業者への処理委託量	38,785.00 t	2,457.00 t								
認定熱回収業者への処理委託量										
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量										
(今後実施する予定の取組)										
<p>可能な限り優良認定業者から委託先を選定する。 また、再利用が可能な廃棄物については、再利用業者へ処理を委託する。</p>										
※事務処理欄										



**産業廃棄物処理計画書（集計用シート）**

<b>提出者の名称</b>	株式会社 斎藤組代表取締役 斎藤 隆	<b>提出者の住所</b>	新潟市西蒲区大原3459番地1
<b>事業場の名称</b>	株式会社 斎藤組	<b>事業場の所在地</b>	新潟市内工事現場（新潟市西蒲区大原3459番地1）
<b>内容年度</b>	<b>年度</b>		

（単位：トン）

廃棄物の種類	現状／計画	排出量 A	自社内での処理状況				委託先での処理状況				
			自己再生 利用量 B	うち熱 回収量 C	自己中間 処理 減量化量 D	自己最終 処分量 E	全処理 委託量 F	委託処理量のうち委託先毎の量			
								優良認定 処理業者 への処理 委託量 G	再生利用 業者への 処理 委託量 H	熱回収 認定業者 への処理 委託量 I	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量 J
廃プラスチック	現状	351.43					351.43	351.43			
	計画	351.00					351.00	351.00			
紙くず	現状	8.25					8.25				8.25
	計画	8.00					8.00				8.00
木くず	現状	885.05					885.05	724.18	724.18		160.87
	計画	885.00					885.00	725.00			160.00
繊維くず	現状	14.59					14.59	14.59			
	計画	14.00					14.00	14.00			
金属くず	現状	2,206.89					2,206.89	2,206.89	2,206.89		
	計画	2,206.00					2,206.00	2,206.00	2,206.00		
ガラス・陶磁器くず	現状	950.82					950.82	950.82			
	計画	950.00					950.00	950.00			
がれき類	現状	1,815.29					1,815.29		1,815.29		
	計画	1,815.00					1,815.00		1,815.00		
石膏ボード	現状	291.24					291.24	291.24			
	計画	291.00					291.00	291.00			
コンクリートくず	現状	38,785.03					38,785.03		38,785.03		
	計画	3,875.00					38,785.00		38,785.00		
アスファルトくず	現状	2,457.00					2,457.00		2,457.00		
	計画	2,457.00					2,457.00		2,457.00		
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
合計	現状	47,765.59					47,765.59	4,539.15	45,988.39		169.12
	計画	12,852.00					47,762.00	4,537.00	45,263.00		168.00